

2018年4月10日

DataRobot Japan
株式会社NTTデータ
NTTコミュニケーションズ株式会社

**DataRobot・NTTデータ・NTT Com が協業し、
企業における AI 活用を加速するフルスタックソリューションを提供開始
～機械学習を活用した分析業務の自動化を実現～**

DataRobot Inc. (以下、DataRobot 社)、株式会社NTTデータ (以下、NTTデータ)、NTTコミュニケーションズ株式会社 (以下、NTT Com) は、企業におけるさまざまなビジネスの課題解決に AI を活用していくためのサービスを、ネットワークやデータセンターを含めたフルスタックソリューションとして 2018 年 4 月より提供開始します。昨今、企業のビジネス改革に対する AI 活用の期待が高まっています。企業が保有する膨大かつ機密性の高いデータを扱うために、セキュリティに配慮された環境を速やかに構築し、実証実験の実施から実業務や商用サービスへの導入を迅速に進めることが求められています。

3 社の協業により、NTTデータが新たに本サービスを提供します。本サービスでは、NTT Com が提供する企業向けクラウドサービス「Enterprise Cloud」(注 1) 上で、DataRobot 社の機械学習自動化プラットフォーム「DataRobot」(注 2) を AI エンジンとして運用し、また、NTTデータが提供する Analytics 自動化ソリューション「AICYCLE™」(注 3) を組み合わせ提供します。これにより、強固なセキュリティ環境を速やかに立ち上げ、さまざまな業務領域に機械学習を適用していくことが可能となることに加えて、企業におけるデータ分析業務の自動化を実現します。

今後、3 社共同による技術検証やマーケティング、プロモーション活動、各種セミナーを実施し、企業における AI 活用を推進していきます。

【背景】

昨今、企業のビジネス改革に対する AI 活用の期待が高まっており、機械学習をはじめとする AI 技術の進展に伴い、将来の需要予測や新たな顧客開拓への活用が進んでいます。企業が保有する膨大かつ機密性の高いデータを扱う AI の導入にあたっては、セキュリティ面を含めた十分な検討が必要です。その一方で、例えばビッグデータがどのようなビジネス効果を生むのか、AI を活用した実証実験を実施するものの、実際の業務に求められるセキュリティレベルとの違いから再検討が必要となるなど、実証実験後の実業務や商用サービスへの展開に時間を要するケースが多く生じています。

また、AI 活用の要となるデータ分析を行うデータサイエンティストが不足しており、環境変化を適切にとらえた AI のメンテナンス、さらには、AI を適用する業務を増やすことが難しいという課題がありました。このような背景からは、データ分析の自動化に対してニーズが高まっています。

【協業の概要】

3 社の協業により、NTTデータが新たに本サービスを提供します。本サービスでは、NTT Com が提供する企業向けクラウドサービス「Enterprise Cloud」上で、DataRobot 社の機械学習自動化プラットフォーム「DataRobot」(注 2) を AI エンジンとして運用し、また、NTTデータが提供する Analytics 自動化ソリューション「AICYCLE™」を組み合わせ提供します。

これにより、強固なセキュリティ環境を速やかに立ち上げ、さまざまな業務領域に機械学習を適用していくことが可能となることに加えて、企業におけるデータ分析業務の自動化を実現します。さらに、NTTデータは、NTT Com との連携により、本サービスをネットワークやデータセンターを含めて、フルスタックのソリューションとして提供します。

【各社の役割】

■ DataRobot

- ・機械学習自動化プラットフォーム「DataRobot」の提供と運用支援

日本における AI によるビジネス変革には、機械学習の自動化による業務への適用、それを扱う人

材の育成が急務です。AI を多くの企業のビジネスに適用してきたノウハウを持つ DataRobot 社は、これらの成功体験を基に、各企業の AI 活用に対しプラットフォームの提供だけでなく、ノウハウの提供、技術サポート、コンサルティング支援といった形で実ビジネスでの運用を強かにサポートしていきます。

■ NTTデータ

- ・ AI 導入の検討段階から運用段階までを一元的にサポートする、「AI.Studio エイアイスタジオ™」（注 4）のサービスとして、NTT Com が提供する「Enterprise Cloud」と、「DataRobot」と当社の「AICYCLE™」を組み合わせた AI インテグレーションサービスの提供

NTTデータは、AI・IoT 領域における新しいサービスの開発、高度な AI・IoT 技術を持つ専門事業者との業務提携、さまざまな業界のお客さまやパートナーと、先進的な AI・IoT の技術活用に取り組んできました。これらの実績やノウハウを最大限に活用し、お客さまビジネスの変革・新たな価値創造を支援していきます。

■ NTT Com

- ・ 機械学習自動化プラットフォーム「DataRobot」に対応したセキュアクラウド基盤として、企業向けクラウドサービス「Enterprise Cloud」の提供

NTT Com は、グローバルに展開する企業向けクラウドサービス「Enterprise Cloud」をはじめ、通信事業者ならではの高品質なインフラと技術を生かし、コロケーション、アプリケーション、セキュリティなどの多岐にわたる ICT サービスを展開しています。また、Software Defined 技術を活用した新たなサービスとマネージドサービスの提供によって、お客さまのデジタルトランスフォーメーションに貢献するとともに、AI や IoT を用いた新たなビジネスの創出に取り組んでいます。



図：協業の概要

【今後について】

今後、3社共同による技術検証やマーケティング、プロモーション活動、各種セミナーを実施し、企業における AI 活用を推進していきます。

【参考】

- ・ DataRobot 社 ウェブサイト
<https://www.datarobot.com/jp/>
- ・ AI.Studio エイアイスタジオ Web サイト
<http://nttdata-aistudio.com/>
- ・ NTTデータ DataRobot 特設サイト
<http://nttdata-aistudio.com/datarobot/>
- ・ NTT DATA Enterprise AI ～NTTデータが考える企業における AI 活用とは～
<http://nttdata.com/jp/ja/services/sp/ai/>
- ・ Enterprise Cloud
<https://www.ntt.com/business/services/cloud/iaas/enterprise-cloud.html>

(注1) 「Enterprise Cloud」は、基幹系システムに求められる「堅牢性」「安全性」と、デジタルビジネスの展開に必要な「俊敏性」「柔軟性」双方のニーズを1つのクラウド基盤で実現可能な、グローバル共通仕様・高品質の企業向けクラウドサービスです。

(注2) 「DataRobot」は、世界トップレベルのデータサイエンティストの知識、経験、ベストプラクティスを組み込んだ機械学習プラットフォームです。

(注3) 「AICYCLE」(分析オペレーション自動化フレームワーク)は、以下の要素を特長として持つ、AIを活用した分析・予測の自動化・自律化技術です。

1. 予測モデル構築に必要なデータの前処理(ETL)・蓄積
2. 予測モデルの精度低下を検知・再構築することで、予測精度を維持
3. 予測の結果、実績データに加えて、過去運用した予測モデルを保存・管理
4. 機械学習フレームワークは、顧客の要件・インフラ制約等に合わせて選択可能。

(注4) 「AI.Studio エイアスタジオ」は、さまざまなAIエンジンに加えて、外部データ連携、セキュアなインフラ環境をワンストップで提供します。また、情報資産の業務活用に向けたコンサルティングサービスや、新サービス創出に向けた検討～実証実験の実施も含めて、検討段階から商用化までを一元的にサポートします。

* 「DataRobot」は、日本国内における DataRobot, Inc.の登録商標です。

* 「AICYCLE」「AI.Studio エイアスタジオ」は、日本国内における株式会社NTTデータの商標です。

* その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

<DataRobot Japan について>

DataRobot Japan は、組織におけるデータ利活用を飛躍的に向上させる先進的なエンタープライズ機械学習プラットフォーム「DataRobot」の開発・提供を行う DataRobot Inc.の日本法人です。2012年に米ボストンで設立された DataRobot Inc.は、設立以来、一貫して機械学習の自動化による「AIの民主化」を提唱しており、現在では、アメリカ、イギリス、ウクライナ、シンガポール、オーストラリア、ベラルーシ、インド、そして日本でビジネスを展開しています。

わかりやすいUIによる優れた操作性と約2000を超える高度な分析アルゴリズムを備えた DataRobot は、すでに大阪ガス株式会社、トランスコスモス株式会社、パナソニック株式会社、三井住友カード株式会社、株式会社リクルートホールディングスを含む幅広い企業で導入され、成果をあげています。

さらに詳しい情報はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.datarobot.com/jp/>